

会 議 録

会議の名称	平成29年度第2回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成29年9月11日(月) 開会10時00分・閉会11時10分
開催場所	行田市商工センター401研修室
出席者氏名	串田隆義 金原二郎 稲葉誠一 今村武蔵 加藤智宏 石橋和夫 松井秀二郎 智田輝史 駒見行彦 田尻要 川村達也(代理出席:山岡明彦) 黒澤典弘 黒木忍(オブザーバー) 早川征太(オブザーバー) ※敬称略
欠席者氏名	園田佳代子 織田和美 細谷茂樹 川村睦子 岡戸修平 ※同上
事務局	【地域づくり支援課】吉田主幹、内沼主査、西尾主任及び市民活動サポートセンター職員(清水)
会議内容	1 開 会 2 委員長挨拶 3 議 題 (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)平成30年度における市民活動サポートセンター主催の事業について (3)その他 4 閉 会
会議資料	(1)資料1「行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書」一式 (2)資料2「新たな取組応援事業審査、評価基準表」 (3)資料3「行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱」 (4)資料4「市民活動サポートセンター講演会開催実績」及び「平成30年度における市民活動サポートセンター主催の事業(案)」
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会  委 員 長  司 会  事 務 局 議 長 松 井 委 員 提 案 者           議 長	<p><b>1 開 会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会を宣言</li> <li>・会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による）</li> <li>・傍聴者なしの旨の報告 など</li> </ul> <p><b>2 委員長挨拶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> </ul> <p><b>3 議 事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明</li> </ul> <p><b>(1)行田市市民活動やる気応援助成金の審査について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2及び資料3に基づき説明</li> <li>・ご意見・ご質問等があれば、発言をお願いしたい。</li> <li>・会則の添付がないが、どのような内容か。</li> <li>・事務局には提出してあるので、必要であればそちらをご確認いただきたい。</li> <li>・その上で「古代米」の定義のみ申し上げると「行田産の古代米（連携した地区の古代米をブレンドした古代米も可能）を使用したご飯を、当会オリジナルの前方後円墳の型（木型・ステンレス型）で抜き、行田産の食材を必ず一品目以上入れた各店舗独自の自慢のソースをかけたカレーライス（但し他地区店舗は他地区の地産地消に貢献する）」となる。</li> <li>・目的は「行田の利点である古墳を中心とした古代の歴史ロマンを盛り込んだカレーにより、行田観光の推進と地元食材や外食産業の活性化、食文化の向上等をめざし、総合的に行田の発展へ寄与する。また、古代米活用の研究及び商品化等を推進する」である。</li> <li>・他に意見などはあるか。</li> <li>・特にないようなので、審査に入りたい。提案者は退室をお願いする。結果については後日、事務局からお知らせする。</li> </ul>

<p>議 長</p>	<p>(提案者退室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員におかれては、審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。</li> </ul> <p>(審査・採点)</p> <p>(審査表回収)</p> <p>(集計)</p>
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さきたま古墳・行田古代米カレーの会の提案について、30点満点に対し委員の平均点が25.5点※となったことを報告する。※後日、27.63点に上方修正(計算違いによる)</li> </ul>
<p>議 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上で、提案に係る審査を終了する。</li> </ul> <p>(2)平成30年度における市民活動サポートセンター主催の事業について</p>
<p>議 長 事 務 局 議 長 早川オブザーバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、議題(2)について事務局から説明をお願いする。</li> <li>・資料4に基づき説明</li> <li>・質疑等、何かあるか。</li> <li>・市内で活動している団体との交流の場が「意見交換会」で市外で活動している団体の活動を知る場が「団体巡り」との線引きか。</li> </ul>
<p>事 務 局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両方とも、市内で活動している方々を対象として考えている。「意見交換会」は一堂に会していただく機会、「団体巡り」は実際に活動している現場を見学に行く機会となる。</li> </ul>
<p>駒 見 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動サポートセンター(以下「サポセン」と表記)自体の周知が徹底されていないと感じている。</li> <li>・一つの提案であるが、たとえば団体の代表に一堂に会してもらい、その場でやる気応援助成金の情報を伝達したり、団体名簿を作成・配布し横の繋がりを生み出す工夫をしたりしてはどうか。</li> <li>・そうすることで、サポセン自体の認知度を高めながら、一部のアクティブに活動している団体だけが情報を得ている状況</li> </ul>

事務局	<p>を打開する役目も担ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「サポセン通信」を発行するなどしているが、周知不足は否めない。周知の方法について助言などいただければありがたい。</li> </ul>
駒見委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちと同じような活動をしている団体の情報を我々自身が持っていないので、他の団体と個別に繋がりを持つことが難しいのが実情だ。</li> <li>・かといって、講演会のような場に参加して講師の話をただ聞くだけでは、隣に座っている人が誰なのかも分からないし、横の繋がりも生まれない。</li> <li>・そこで、市民活動をしている方々を一堂に集め、マッチング形式のような場を企画してもらえると、団体同士の横の繋がりが生まれ、より活気のあるまちづくりにも繋がっていくと思う。</li> <li>・また、企画する際には、やる気応援助成金などの補助金・助成金情報を提供する場ともすることで、サポセンの宣伝と併せて、団体側に土俵に上がってもらえるような設えとすることも大事だろう。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご提案いただいた内容も含めて検討してみたい。また、周知の方法については、他自治体のサポセンにおける事例も研究しながら力を入れていきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポセン大会のようなものをメッセ形式で年1回開催し、市内で活動している団体の代表者＋1名くらいの方々が一堂に会すことのできる機会を提供できれば面白い。</li> <li>・マッチングについても、たとえばポスターセッション形式にして各団体の活動を紹介するパネルを並べ、その前に各担当者を配し、各人が興味のあるパネルを訪れ情報交換する、というやり方もある。</li> <li>・学校形式やコの字型で机を並べて「話し合ってください」で</li> </ul>

<p>議 長 事 務 局</p> <p>松 井 委 員</p>	<p>はなかなか難しいので、立ち話でざくばらんに話をしながら、少しずつ交流が深まれば良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のサポセンではそのような催しを開いているところもあるようだ。行田も市民活動が盛んなので、大人数を集められる会場の確保も大変だろうが、各団体が一堂に会して意見を交換している様子を一度見てみたい気はする。貴重なご意見に感謝する。</li> <li>・事務局案（資料4）は、5分野に分けてバランスよく提案されていて、よくまとめていただいたと思う。ただ、全て実現しようと思うよりも、できるものからしっかりと着実にやっていった方がよい。</li> <li>・何よりもサポセンの周知が一番の課題である。私も学生などに「サポセンがあるじゃない」という話をすると「知りません」という返答が来ることが多く、これではいけないと強く感じている。</li> <li>・是非とも皆さんの力と知恵を拝借し、周知に力を入れていきたいので宜しくお願いしたい。</li> </ul> <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議題(3)について、何かあるか。</li> <li>・「市民公益活動推進委員会」の新たな委員を募集しているので、ご協力をお願いしたい。</li> <li>・(その他募集に関する詳細の説明)</li> <li>・今年も「みずしろフェスタ」の実行委員長の役を預かった。11月11日(土)・12日(日)の2日間にわたって開催する。</li> <li>・サポセンの周知や団体同士が繋がりを持てるステップの一つとして考えているので、皆様のご参加をお願いしたい。</li> <li>・また、先ほどの意見にあったようなメッセ形式の催しについては、秋口に行う同フェスタと対になるような形で、たとえばアカデミックな催しとして春頃に開催できればよいと思っ</li> </ul>
-------------------------------------	---

<p>事務局</p>	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポセン主催の事業として、これまでとは少し形を変えて、公益財団法人いきいき埼玉との共催により「いきいきボランティア養成講座」を開催する。</li> <li>・時間は現時点で未定だが、平成 30 年 1 月 18 日（木）に行うので、皆様の参加をお願いしたい。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた議題は全て終了した。これにて議長の職を解かせていただく。</li> </ul>
<p>司会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に、オブザーバーとして毎回ご出席いただいている黒木様から一言頂戴したい。</li> </ul>
<p>黒木オブザーバー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回出席しての率直な感想は、行田市は「地域を何とかしよう、何とか盛り上げよう」という市民活動団体が多いということである。</li> <li>・今回の提案者が配布した埼玉新聞の記事にもあるとおり、日本遺産の認定が一つのきっかけでもあり、行田市は足袋蔵や埼玉古墳群など地域資源が豊富なので、そうした資源を絡めて地域活性化に繋げてもらえればと思う。</li> <li>・（その他経済産業省主催のセミナーに関する案内）</li> </ul>
<p>司会</p>	<p><b>4 閉 会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会を宣言</li> </ul>